

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島駅南口ビル新築他工事 南口ビル	階数	地上22F地下2F
建設地	広島県広島市南区松原町1番、2番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	37,900 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2020年12月22日
敷地面積	86,357 m ²	作成者	㈱大林組 広島支店
建築面積	17,731 m ²	確認日	2020年12月23日
延床面積	113,754 m ²	確認者	㈱大林組 広島支店



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 2.6	スコア = 3.8
設計の計画上特段に配慮した事項 BPIm=0.86 / 交通広場上部にアトリウム設置 // 中央監視設備、BEMS設置 / 自動水栓に加え、節水型便器の採用 雨水利用水槽の設置 既存建築躯体の再利用 リサイクル材の多用 OAフロアの採用 / LCCO ₂ 排出率=96%	設計の計画上特段に配慮した事項 / 条例基準を満たす駐輪場、駐車場設置	設計の計画上特段に配慮した事項 給水管、排水管、通気管: B以上 / 主要設備の更新ルートを確認 配管展開スペース、機器更新通路利用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される